

ふくふくファンド（宮城労福協社会貢献活動基金）
2010年度 助成事業報告書

担当者連絡先

団体名	特定非営利活動法人ほっぷの森
連絡担当者お名前（ふりがな）	事務局 宍田さわら（シタ サワラ）
担当者	電話 022-797-8801 FAX 022-797-8802 E-Mail hop@mirror.ocn.ne.jp (法人) 又は icg48584@nifty.com (宍田)

【助成事業報告書 記入上の注意事項】

- ・ 各項目は、なるべく詳しくご記入ください。
- ・ 記入スペースが足りない場合は、枠を広げても構いません。
- ・ 報告書の本文中に写真のデータを貼り付ける場合は、ファイルサイズがあまり大きくなりないようにしてください。目安としては100キロバイト以下でお願いします。ファイルサイズを小さくする方法がわからない場合は、写真データを本文中に貼り付けず、報告書と別にメールで送付してください。
- ・ 助成金の使途内訳については、収入の合計と支出の合計が同額になるよう記入してください。項目は、申請書で記入した項目をもとにしてください。

ふくふくファンド（宮城労福協社会貢献活動基金）
2010年度 助成事業報告書

23年6月30日

団体名（ふりがな） 特定非営利活動法人ほっぷの森(トク化エイカツウウジンホッフノリ)

事業名 障がい者のための映像等を活用した求人面接トレーニングプログラムづくり事業

1. 実施事業の内容

助成金を使って行った事業について、記述してください。

- ・ 就労支援センターほっぷ（就労移行支援事業所）を利用している知的障がい者や高次脳機能障がい者の方々に、映像記録やモニタリング用紙（別紙参照）を活用した面接トレーニングプログラムを実施した。
- ・ 面接時に重要な身だしなみや面接官へ与える印象などを講義していただいた。講師は話し方のプロで理事の渡辺氏と美容のトータルアドバイザー千葉氏。面接の際の服装や表情の作り方、話し方などを映像を見ながら丁寧に実践・解説いただいた。
- ・ 講座内容を基に模擬面接会を行い映像に記録し、全員で映像を確認した。自分のできているところ、できていないところを見つけ、また他の人の意見なども参考に再度模擬面接に挑んだ。前回の映像と比較し、修正・改善されたかを確認した。
- ・ 企業側の採用のポイントなどをアドバイスいただいた。講師は(株)サトー商会人事総務部の太田氏。企業内での障害者雇用の考えや仕組み、どんな人材を採用したいのか、どんな心構えで仕事に取り組んで欲しいかなどを詳しくお話していただいた。この講座により、企業側のニーズ、採用のポイント心構えなどを確認することが出来た。
- ・ 面接トレーニングを題材としてグループワークを行い、よりよい面接を目指し意見を出し合い、気付きを深めた。
- ・

2. 事業の成果

今回の事業によって、どのような成果・効果がありましたか。

- ・ 自分の面接時の姿（表情・視線・しぐさ等）、話し方を映像で見ることにより、自分の癖や改善点に気づくことが出来た。
- ・ 映像があることで、他者の様子についても集中して見る事が出来た。そのことにより、自分自身の気付きにもつながった。
- ・ その都度映像が残ることで振り返りが容易になり、具体的に改善のポイントを示すことが出来た。また比較することが出来、練習後の変化もわかりやすかった。

3. 今後の展開

今回の事業を、今後どのように展開していきますか。その際に必要なものは何ですか。

- ・ 面接の場面だけではなく、普段からの意識も大事と思われるため面接練習時以外の活動場面でも活用していきたい。例えば、会社で仕事をする時などの姿勢や、話し方など、なかなか気が付きにくい点を再確認できるような形をつくりたい。そのために多方面からの気付きをもたらしてくれるような講師の方を探し、依頼していく必要がある。
- ・ マニュアル、取り組み記録等シート（様式）類の充実を図りたい。これまでに判った問題点等を改善していくと共に、より効果的な取り組みを行うためのノウハウを得るために外部の講習会などにも積極的に参加することも必要かと思われる。

4. 助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ふくふくファンド助成金	100,000	
自己資金	48,612	
合計	148,612	

支出の部

項目	金額（円）	内訳
デジタルビデオカメラ	35,630	
プロジェクター	69,800	
スクリーン	18,627	
記録用メモリ	5,980	
コピー代	2,420	
ファイル代	1,155	
講師謝礼	15,000	
合計	148,612	

5. メッセージ

宮城労働者福祉協議会へのメッセージをご記入ください。

社会全体の景気の低迷に加え、3月の震災により障害者雇用をめぐる情勢は、厳しさを増しております。その状況下においても働きたいという意欲と働く場になる企業への第一の関門として面接があります。自分自身を客観的に見ること、振り返ることの出来るツールを用意できたことは、面接会や、しいては自分自身の成長のために大変役立つものと考えております。今後は内容をより充実させて一人でも多くの方に就労機会が出来るようにしたいと考えております。

ありがとうございました。